



ゲンダイエージェンシー株式会社

2026年1月23日

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

2026年3月期 第3四半期決算のポイント



- ◆ 新経営陣体制による各種施策が奏功し、各段階利益は前年を大きく上回り推移
- ◆ インターネット広告が大きく伸張
- ◆ 折込広告等の紙媒体広告の減少が加速
- ◆ 賃上げ、採用等人的資本への投資により販売費及び一般管理費は上昇

2026年3月期 第3四半期業績の状況(対前期比)



	前第3四半期		当第3四半期		(単位:百万円)	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,819	100.0%	5,822	100.0%	2	+0%
売上総利益	1,794	30.8%	2,064	35.5%	270	+15.1%
営業利益	322	5.5%	566	9.7%	243	+75.5%
経常利益	322	5.5%	568	9.8%	245	+76.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	4.4%	372	6.4%	113	+43.9%

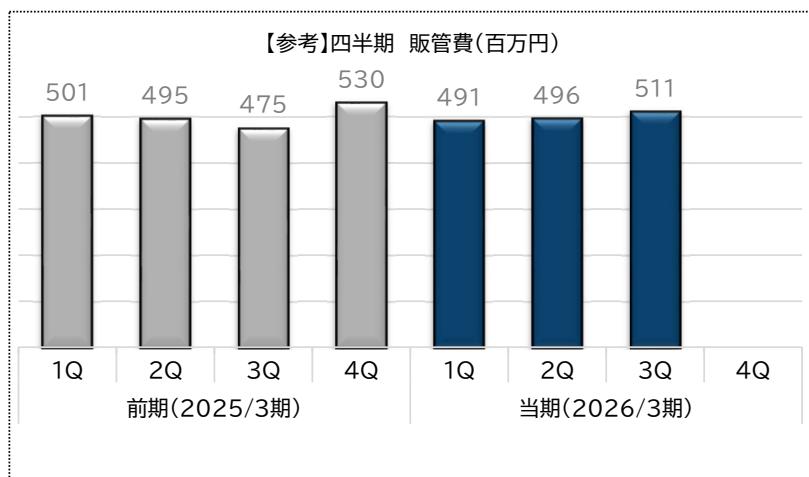
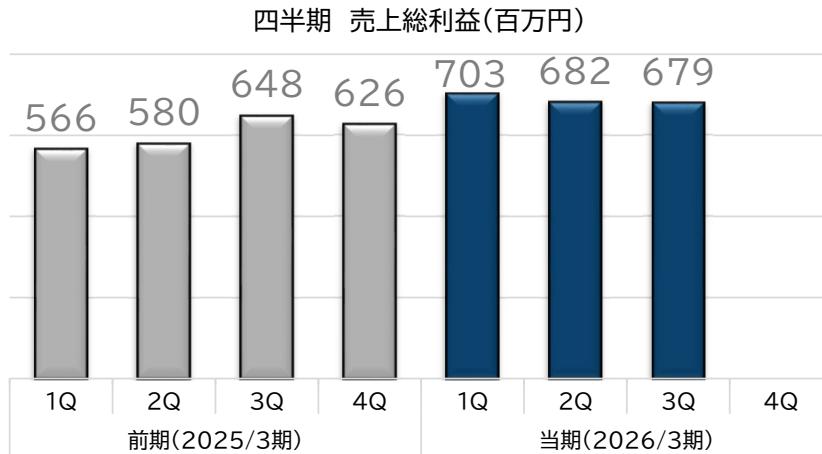
>結果

- ◆ 各段階利益は前年を大きく上回り推移

>要因

- ◆ パチンコ広告分野はガイドラインに則った集客に貢献する広告、サービスが市場に浸透しマージンが改善
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)



- ◆ 前年同期比で売上総利益は伸長
- ◆ 賃上げ、採用等人的資本への投資により販売費及び一般管理費は微増
- ◆ 営業利益は前年同期比で微減

事業の種類別セグメントの状況



【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	5,737	85	—	—	5,822
セグメント利益	738	41	—	-213	566

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	-37	+42	-3	—	+2
セグメント利益	+226	+26	+1	-10	+243

- ◆ 紙媒体広告の減少により、広告事業の売上高は前年を下回り推移
インターネット広告へのシフトによりセグメント利益は前年を大幅に上回る
- ◆ 不動産事業は第1四半期に大型の宅地建物取引手数料案件の計上もあり、
前年を大きく上回り推移

セグメント損益(広告事業)



広告事業	(単位:百万円)			
	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	5,774	5,737	-37	-0.6%
セグメント利益	512	738	+226	+44.1%

外部環境>

- ◆ パチンコホール施設:
 - ・スマート遊技機の普及や遊技性の多様化により業界活性化に期待
 - ・業界タレント等の来店プロモーション企画や、インターネット広告の需要は増加傾向
 - ・折込広告等、取扱高の大きい紙媒体広告の減少により売上高は前年同期比で減少
 - ・2025年5月にパチンコ業界4団体から発出された「広告宣伝ガイドライン第三版」により、広告手法や集客支援の実施可能な範囲が明確化
- ◆ パチンコホール以外の広告分野:
 - ・広告需要は増加基調

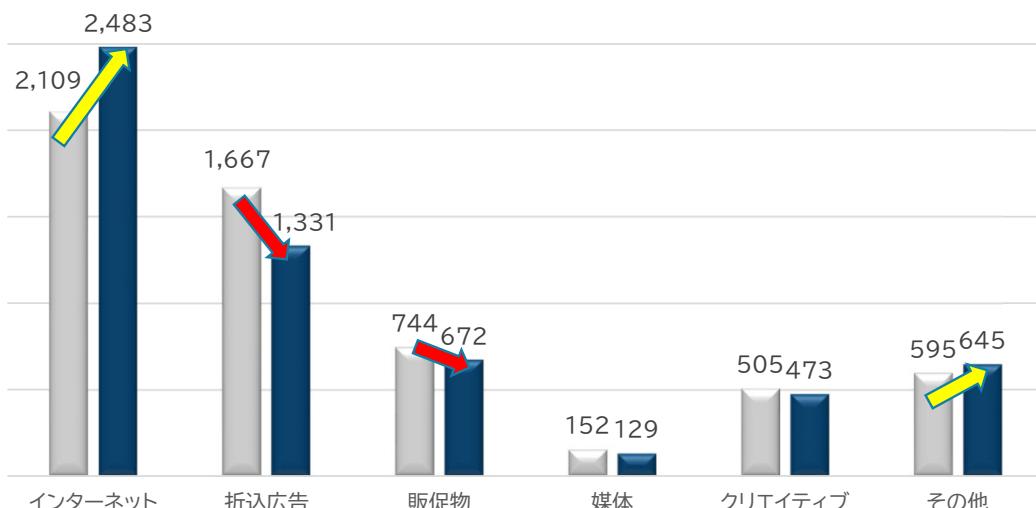
当社グループの取り組み>

- ◆ ガイドラインに則った集客支援広告、サービスの開発、拡販
- ◆ DSP広告や、自社保有サイト「パチ7」のオリジナルサービス等のマージンの高いサービスの販売に注力
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第3四半期		当第3四半期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
インターネット	2,109	36.5%	2,483	43.3%	374	17.8%	6.8 pt
折込広告	1,667	28.9%	1,331	23.2%	-335	-20.1%	-5.7 pt
販促物	744	12.9%	672	11.7%	-71	-9.7%	-1.2 pt
媒体	152	2.6%	129	2.3%	-22	-15.0%	-0.3 pt
クリエイティブ	505	8.8%	473	8.3%	-32	-6.3%	-0.5 pt
その他	595	10.3%	645	11.3%	50	8.5%	1.0 pt
合計	5,774	100.0%	5,737	100.0%	-37	-0.6%	

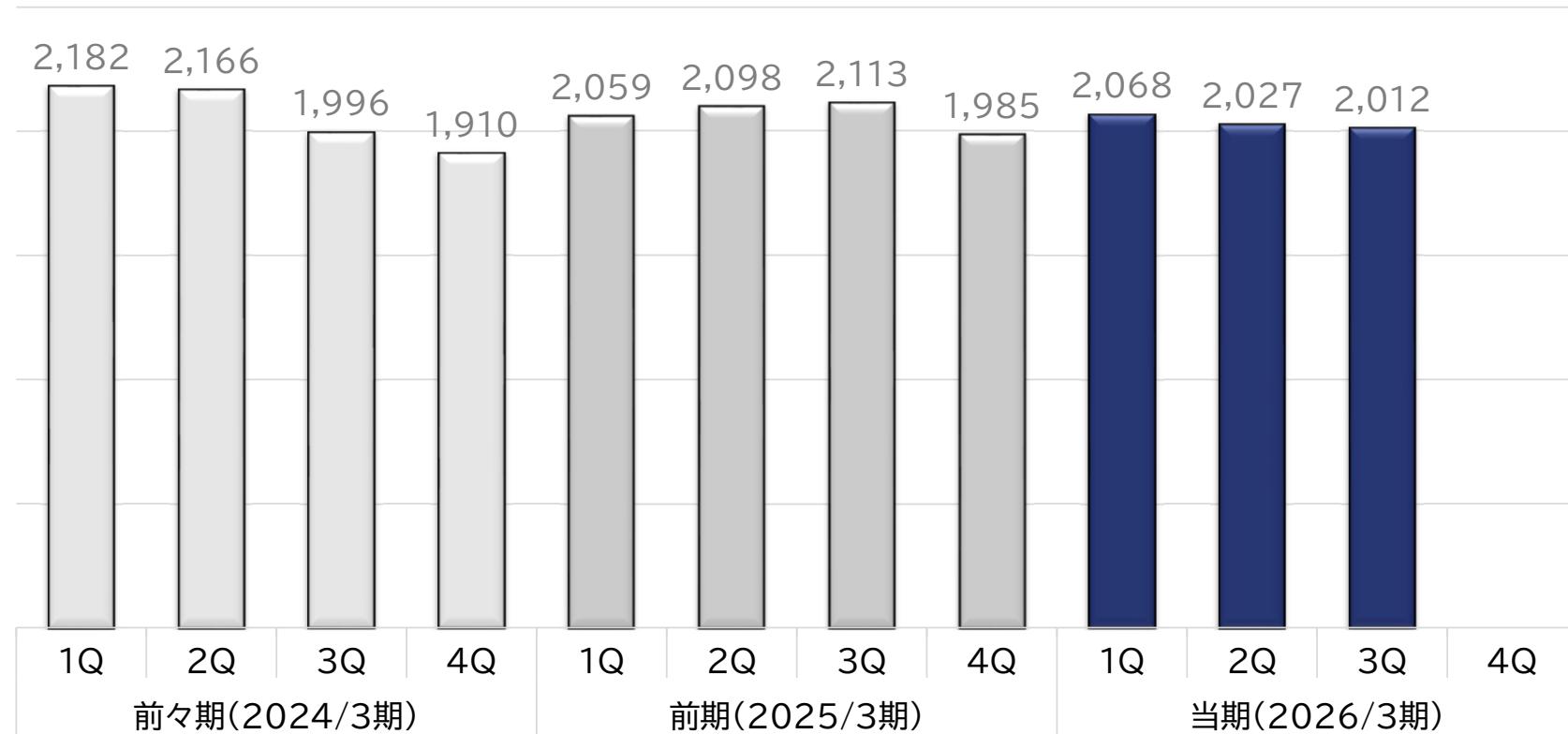


- ◆ インターネット広告は前年同期を大幅に上回る
- ◆ 折込広告等の紙媒体広告の減少は加速
- ◆ その他はデザイン生成AIツールの販売や大型のスポット案件計上により増加

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)



広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)



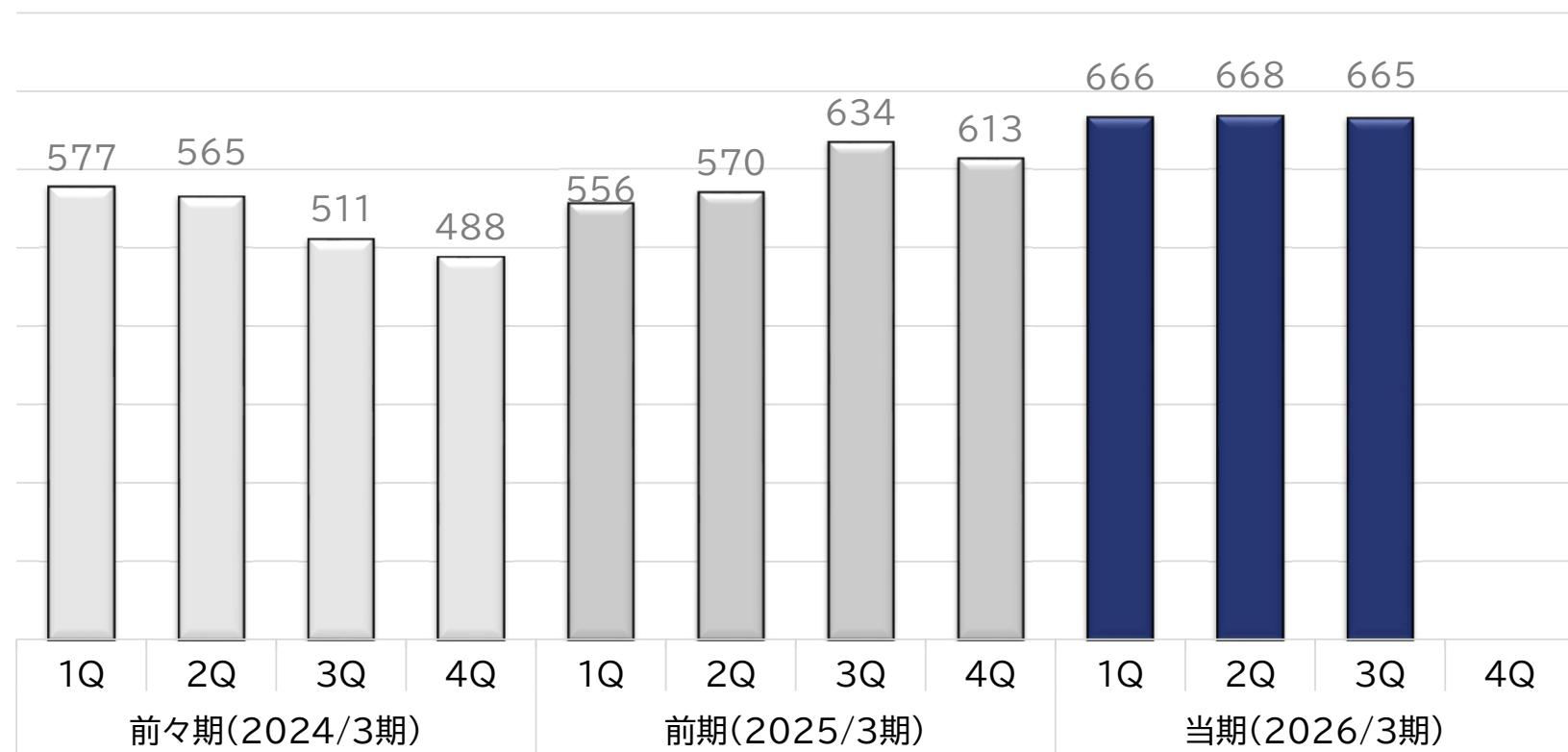
※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

- ◆ 紙媒体広告の減少や媒体等の代理人取引の減少により、総取扱高は前年同期と比較し減少

【参考】四半期売上総利益の推移(広告事業)



広告事業 四半期売上総利益の推移(百万円)



- ◆ 紙媒体広告からインターネット広告へのシフトが進み、売上総利益は上昇傾向

【参考】業種別総取扱高の状況(広告事業)

	前第3四半期		当第3四半期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	3,581	57.1%	3,360	55.0%	-221	-6.2%
パチンコホール以外の広告分野	2,689	42.9%	2,747	45.0%	58	2.2%
合計	6,270	100.0%	6,107	100.0%	-163	-2.6%

※総取扱高は、代理人取引を取り扱い総額で計上したものです。

前第3四半期



当第3四半期



- ◆ 紙媒体広告からインターネット広告のシフトもあり、取扱高は減少
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に増加

セグメント損益(不動産事業)



不動産事業	前第3四半期	当第3四半期	(単位:百万円)	
			増減額	前年同期比
売上高	42	85	+42	+102.2%
セグメント利益	14	41	+26	+186.1%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、大型の宅地建物取引手数料や賃貸物件の仲介等に伴う手数料収益46百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は85百万円(前年同期比102.2%増)
セグメント利益は41百万円(前年同期比186.1%増)

連結貸借対照表

	前期末 (A)	当第3四半期末 (B)	(単位:百万円) (B)-(A)
現金及び預金	3,693	2,997	-696
売上債権	972	989	17
その他流動資産	55	65	9
有形・無形固定資産	695	678	-16
繰延税金資産	44	23	-21
投資その他資産	284	515	231
資産合計	5,746	5,271	-475
買掛金	496	522	26
短期・長期借入金	675	556	-118
未払法人税等	67	146	78
その他の負債	306	253	-52
負債合計	1,545	1,478	-66
株主資本	4,205	3,796	-408
その他	-3	-3	0
純資産合計	4,201	3,792	-409
負債・純資産合計	5,746	5,271	-475

→ 利益配当、自己株式取得による減少

→ [·当四半期純利益+372百万円
·配当△255百万円
·自己株式取得△526百万円]

連結業績予想の進捗状況



	業績予想※	当第3四半期実績	(単位:百万円) 進捗率
売上高	7,800	5,822	74.6%
営業利益	750	566	75.5%
経常利益	750	568	75.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	500	372	74.4%

※2025年10月17日公表予想

- ◆ 当第3四半期連結会計期間の業績は、概ね計画どおりに進捗しております。よって、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部

URL. <https://www.gendai-a.co.jp/ir/contact/index.php>

Tel. 03-5358-3334

